

一年を振り返って

GIGA スクール構想も3年目となり、子どもたちの学ぶ環境も急激に変化していることが実感できるようになってきました。宮城県総合教育センターでは、今年度も教育の情報化に対する情報提供の一つとして、「M ナビ新聞—情報教育通信—」を月1回発行し、教育の情報化に関する情報提供に努めて参りました。そのなかでも、今年度はICT活用の実践事例として、令和4年度の専門研究・教育の情報化グループの研究成果物である「Withタブレ」を使った実践を紹介してきましたが、いかがだったでしょうか。学校におけるICT活用は、活用する、しないを選択するのではなく、学校教育の基盤となるツールとして文房具の一つとして必要に応じて当たり前を活用していくフェーズに入っております。学校を取り巻く環境は、以前とは考えられない速さで変化し続けており、次の最先端がどのようなものになっていくかは、誰にも想像もできない時代になっています。これからも、宮城県総合教育センター情報教育班では実践的な情報提供を行い、教育の情報化に向け皆様のお役に立てればと考えております。

(情報教育班班長 針生 智之)

長期研修の研究成果物を活用しませんか？ —コンテンツ紹介—



令和5年度長期研修(専門研究)教育の情報化グループでは、「児童生徒のプログラミング的思考を育む学習活動の推進—プログラミング教育パッケージ「みやプロGo!」の開発とその活用の提言を通して—」をテーマに研究を進めました。

研究成果物として作成した「みやプロGo!」は、プログラミング的思考を育むための学習教材等がまとめられたプログラミング教育パッケージであり、これからの時代に必要な力を理解することができる「研修セット」、各教科等における学習活動の計画に役立つ「体系表例」や「学習カリキュラム例」、プログラミング的思考を取り入れた授業づくりに役立つ「学習活動例」「学習動画」等が準備されています。

新年度に向けて、各教科等における学習活動の中に、プログラミング的思考を取り入れてみませんか。この一年間の研究の成果をまとめた研究報告書は、当センターのホームページから閲覧できますので、ご覧ください。

児童生徒のプログラミング的思考を育む学習活動の推進
—プログラミング教育パッケージ「みやプロGo!」の開発とその活用の提言を通して—

プログラミング的思考を育み、未来を切り拓く子供たちへ

みやプロGo! がサポート!

こんなお悩みありませんか?

- プログラミングを通して育つ力はなんだろうか?
- いつ、どの授業でプログラミング的思考を育むことができるかな?
- プログラミング的思考を育む授業ってどのようなものをおくにする?

その悩み、みやプロGo!にお任せください!

みやプロGo! ...プログラミング的思考を育むための学習教材等がまとめられたパッケージ

これからの時代に必要な力を理解	児童生徒の実態に合わせた授業を計画	授業づくりに役立つ教材が充実
<ul style="list-style-type: none">プログラミング的思考の重要性が動画で分かるプログラミング的思考の育成を通して具体的な姿が、発達段階ごとに分かる	<ul style="list-style-type: none">小・中学校でプログラミング的思考を育むことのできる単元が分かるプログラミング的思考の育成計画を立てられる	<ul style="list-style-type: none">プログラミング的思考を育む学習活動が分かる授業づくりに役立つことができる

動画で簡単に学ぶことができるよ!

各学年の目標や単元を確認できるよ!

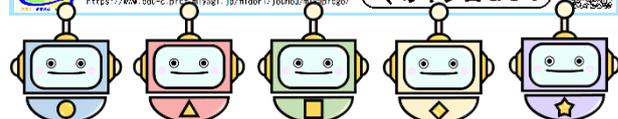
解説付きで授業づくりに活用できるよ!

子供たちの未来を切り拓く力を一緒に育みましょう

宮城県総合教育センター
令和5年度教育の情報化研究グループ
<https://www.educ-prtc.jp/ag1-jp/midor/jyoshu/miyaprogo/>

令和6年3月公開

みやプロGo!



研修会情報

～令和6年度 宮城県教職員研修計画～ 専門研修「情報教育に関する研修」の紹介

令和6年度の専門研修「情報教育に関する研修」のうち、希望研修として計画されている研修会を紹介します。情報技術や人工知能技術の進展により、子供を取り巻く環境が急激に変化し、将来の予測が困難な社会になってきています。学習指導要領では、各学校においては、児童生徒の発達段階を考慮し、言語能力、情報活用能力（情報モラルを含む。）、問題発見・解決能力等の学習の基盤となる資質・能力を育成していくことができるよう、各教科の特性を生かし、教科横断的な視点から教育課程の編成を図ることが示されています。これらのことを踏まえ、以下の観点で情報教育に関する研修会を実施します。

なお、受講申込は4月1日から4月12日までMナビオンラインの受講管理システムで受付ます。詳細は、「令和6年度宮城県教職員研修計画」をご覧ください。センターホームページにも掲載しています。

研修会番号	研修会名	定員	月日	主な内容
F0100	小学校プログラミング教育研修会	30名	7月9日(火)	Viscuit や micro:bit などのプログラミングツールの操作体験、プログラミング教育に関する講義・演習、授業実践事例の紹介
F0300	情報メディア研修会	60名	7月19日(金)	情報発信における情報モラルについての講義・演習、インターネットを活用した情報共有、情報発信の演習
F0400	1人1台端末時代における情報モラル教育研修会	100名	7月18日(木)	生成AIの教育利用と情報モラルの在り方に関する講義・演習、情報活用能力としての情報モラルを育む指導に関する講義・演習
F0501 F0502	iPad を活用した授業づくり研修会 ※A、Bのうちいずれか1日	各30名	A: 6月7日(金) B: 7月12日(金)	初めてiPadに触れる先生方を対象にした基本的な操作方法や活用方法についての演習、写真・動画アプリ、KeynoteなどのiPadのアプリの活用方法の演習、教材作成
F0601 F0602	Google Workspace を活用した授業づくり研修会 ※A、Bのうちいずれか1日	各60名	A: 6月12日(水) B: 8月8日(木)	Google Workspace の基本操作についての演習、Windows ノートパソコン、iPad、Chromebook から選択し、勤務校で使っている端末にあわせての研修が可能
F0801 F0802	ICTを活用した校務改善研修会 ※A、Bのうちいずれか1日	各30名	A: 6月26日(水) B: 8月5日(月)	文書作成、表計算、プレゼンテーションソフトウェアの基礎基本に関する演習、校務改善に必要な資質・能力の向上を目指す

編集後記	<p>Mナビ新聞「情報教育通信」第25号はいかがだったでしょうか。この1年間、教育の情報化に関する情報を発信してきましたが、令和5年度の発行は、今回が最終号となります。</p> <p>全ての学校段階で1人1台端末の環境が整い、指導方法、教師の資質能力、組織体制などの教育環境が大きく変化しているのではないのでしょうか。情報収集のためにも、本紙を参考にいただければ幸いです。(第25号担当:千坂)</p>
------	---